Kobe University Repository : Kernel

PDF issue: 2026-11-23

自分達の将来（<トピックスPARTII>荒れる若者2 大学生は今）

高橋, 英雄

(Citation)
神戸大学医学部神緑会学術誌, 17:72-73

(Issue Date)
2001-08

(Resource Type)
departmental bulletin paper

(Version)
Version of Record

(JaLCDOI)
https://doi.org/10.24546/81007704

(URL)
https://hdl.handle.net/20.500.14094/81007704

KOBE UNIVERSITY

自分達の将来

神戸大学医学部4回生　高橋英雄

この原稿の依頼が僕のところにきた時は，僕なんかが学生の代表として，このような場で意見を述べてもいいのだろうかと，正直，戸惑いました．しかし，せっかくだから普段自分たちがどんなことを感じ，また，考えているのかを多くの人たちに分かってもらいたいとも思いました．

最近，ときどき思うことがあります．それは，このまま僕は医者になっても大丈夫なのだろうか，ということです．今，医療の現場では，さまざまな医療ミスが発生し，また，そのひとつひとつが大々的に報道されています．そんな記事を見つけるたびに，さきほどの考えが頭をよぎるのです．僕が医者になったら，こんなミスを犯さないだろうか，患者さんのことを第一に考えられるだろうか，などど悩んでいると，なんだか医学部に入って良かったのかどうかを考え直してしまいます．しかし，普段はこんなことを考える余裕もなく．学業（遊び？）にいそしんでいるのです．

おそらく，たいていの学生はそうだと思いますが，あまり，自分達の将来については考えていないのではないのでしょうか．高校のころに考えていた大学生のイメージとは程遠い学生生活を送っているうちに（高校生のころから？），将来について考えるのを忘れてしまったような気がします．このように，普段ほとんど考えていないために，いざという時になって不安を感じるのではないでしょうか．たとえば，就職を考えなければならない時期になって急に不安になるという話は，よく耳にすることでしょう．僕も最近になって，ふと，さきほどのような不安に襲われるようになりました．しかし，不安を感じているだけでは，何の変化も起こりようがありません．むしろ，自分でその不安に対しての対策を見つけなければならないはずです．自分達の将来の不安は，自分達で取り除くしか方法がないのです．

僕自身は，将来の不安に対しては，これといって何もしていません．これは，まったく考えていないという意味ではありません．考えていないのではなく，考えた上での選択なのです．僕は，将来についていろいろ考えて不安になるよりは，目の前のやるべき事柄を自分の最善を尽くしてやり遂すべきだと思います．そうしているうちに，自分の目指す将来が見えてくると信じています．将来に対しての不安は，人によってさまざまでしょうが，それぞれの人が自分で考えて出した答えは，誰も批判することはできないはずです．僕は自分の出した答えに自信を持ってこれからも，がんばっていきたいと思います．

学生は何も考えていないと言われますが，そんなこ

とはありません．それぞれが，自分の将来について考　　えているはずです．温かく，見守ってください．